

慶應志木会会報

慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)

1994(秋・冬号)



• vol.12



留任のご挨拶

鐵野 善資

本年、9月末日をもって2期4年の任期を私なりに務めさせていただきましたが、その間、志木会の先輩諸氏からはいろいろとご協力を賜り、まことにありがとうございました。10月から3期目のお役目を仰せつかったばかりのところですが、今後とも私なりに一所懸命に務める所存です。宜しく願い申し上げます。

以前にも、志木高OBのご父兄がPTAの会長などをお務めいただいたことがありますが、現在も、会長が鎌田政稔さん、副会長が谷口法夫さんで、役員を務めていただいている方々もあります。心強い限りです。

たまたま「文藝春秋」の11月号に載った拙文をお読みいただいた方もおありのようですが、私は1961年度、大学院修士課程2年目に、ドイツ語教師として初めて志木高の教壇に立たせていただきました。また、専任が法学部であることもあって、歴代校長のすべての方を存じ上げておりますのも思えば珍しいことではあります。鳥の刷り込み現象ほどではないにせよ、志木高が常に私の意識に上っていたことは確かですし、思い返せば、ほとんどのドイツ語教師が、私との関わりで志木高のドイツ語を担当されたのもこのご縁によるものです。また、過去何代かの先輩校長諸氏にはいつか何らかの形で志木高のドイツ語・フランス語のレヴェル・アップがはかれないだろうかということをもちかけたこともありました。今やその心配もなくなりつつあります。現在、志木高で多数の言語が学べるようになりましたが、将来、卒業生がどの分野に進むにせよ、決して無駄にはならないと考えています。自分の専門分野があり、そして、心得ている言語があることによって、その活動範囲が明確になるでしょうし、他人の追従を許さない独自の活躍が可能になるでしょう。英語ができれば、商売がなんとかできるだろうという時代はもう終わったと言ってもよいと思います。

皆さんの後輩は大学でもなかなか好評で、在校生も順調に成長しています。今後とも志木高の後輩のためにご尽力くださいますようお願いいたします。

FROM SHIKI

●志木だより

志木演説会 7月15日(金)

本年第1回目の志木演説会は化学科の三義英一先生(本校の23期生)にエイズをテーマに講演していただきました。

運動会 10月5日(水)

2日の予定が雨天になり4日に順延になり、その4日もできず5日へとのおびてしまいました。



カルガモ

ことしも管理棟下の用水池でカルガモが11羽も誕生しました。孵ったのが6月14日で巣立ちが8月20日頃でしたから、ほぼ2ヶ月間をかわいらしい姿で、池の中を泳ぎまわっていたこととなります。

研修・見学旅行

1年 10/7(金)～9(日) 箱根高原ホテル泊。地学、生物の野外研究およびオリエンテーリングを三日間をかけて行いました。

2年 前班10/11(火)～13(木) 後班10/12(水)～14(金) 北陸方面2泊3日の旅行で、前班は泉鏡花、後班は室生犀星をテーマにした国語科の研修旅行です。

3年 前班10/11(火)～15(土)、後班10/12(水)～16(日) 道東を中心とした4泊5日の旅行で、宿泊したのは然別湖、川湯温泉、ウトロ、層雲峡の各地です。



1年オペラ観賞 10月15日(土)

パナソニック・グローブ座で行なわれたオペラ「ロメオとジュリエット」全5幕を鑑賞。当日修道士ロランの役で出演した新保堯司先生への大きな拍手で湧きました。

2年観劇 10月20日(木)

泉鏡花の「滝の白糸」を新橋演舞場で鑑賞しました。

理工学部見学会 10月27日(木)

今年も2年と3年の希望者が参加して行なわれました。

本年度各クラブの主な活躍

昨年にひきつづき囲碁・将棋が頑張った。全国高校囲碁大会で県大会優勝の多田匠四段は全国大会でも大健闘して準決勝に臨んだ。同じく将棋の方も古田龍生君が全国大会で1年生ながら頑張った。マンドリンクラブも全国高校ギターマンドリンフェスティバルでは大阪市長賞に輝いた。常連のボートも早慶対校競漕大会での優勝を始めとし、関東大会でも男子ダブルスカルで2位に入り、全国選抜漕艇大会に出場する。また硬式庭球部も県大会で団体戦、個人戦共に3位になるなどの活躍がありました。

第47回収穫祭 11月5日(土)、6日(日)

今年度の収穫祭はクラス参加を主体に、3年各クラスより選出の実行委員によって運営され、後夜祭は本校生徒のみで行うという初の試みがなされました。宣伝不足か後夜祭の参加者は少なかったが、それなりになごやかな後夜祭となって収穫祭を閉じることができました。



マラソン大会 12月7日(水)

恒例のマラソン大会は、ことしも森林公園内の10kmコースで行います。

志木演説会 12月8日(木)

本年第二回目の志木演説会は、志木市民会館ホールで、志木校17期卒のエム ナマエ氏の講演で「人生というプラモデル」—失明から僕を救ったもの—という演題で行なわれます。

特集

『収穫祭のこと』

第一期から第十期ぐらいまでの古い卒業生たちには、当時、実際に農業高校として農牧場作業(実習)があり、先駆的な有畜農業の収穫物をことほぐ学園祭として、「収穫祭」の名は実状にふさわしいものであった。

しかし、農業の「の」の字も関係のない(少なくとも、そう思い込んでいる)現今の生徒にとって、正直なところ、果してピンとくる学園祭の名前なのであろうか？ 今まで、伝統的にそう呼称していたので、それをそのまま踏襲しているに過ぎないのではないのか。

実は、その時期の卒業生なら、たぶん、記憶していることと思うが、「収穫祭」の名づけ親は、農高から普通高校への転換(各学部無試験進学をとまなう)を推進し、実現にこぎつけた第三代校長吉田啓一先生(故人)であった。そしてこの命名は、現在、年三回開催されている「志木演説会」(福沢先生の『三田演説会』に由来)の発足と軌を一にしていたのである。つまり、当時の吉田校長としては、農業高校から普通高校への転換によって生じる生徒のタガのゆるみを、語義を拡大しての勉学や課外活動のそれを「収穫」と位置づけ、さらに、福沢先生の故智にならって「志木演説会」を始めることにより、ひき締めようとされたのであろう。

単に、入学試験なしに義塾の各学部へ進学できる普通高校へと転換するだけでなく、農高から継承できるものは継承し、新たにつけ加える必要のあるものはつけ加えようという、この教育への熱情を、果して、その後の卒業生諸君はどう受け留めたであらうか？ いや、現在の在校生諸君や教職員諸兄姉は、いったい、どう感じているのだろうか。「収穫祭」や「志木演説会」を重荷と思うひとがいたならば、もういちど、この原点に立ちもどってはいかがだろうか。「温故知新」とは、単なる故事熟語ではないと思うが――。

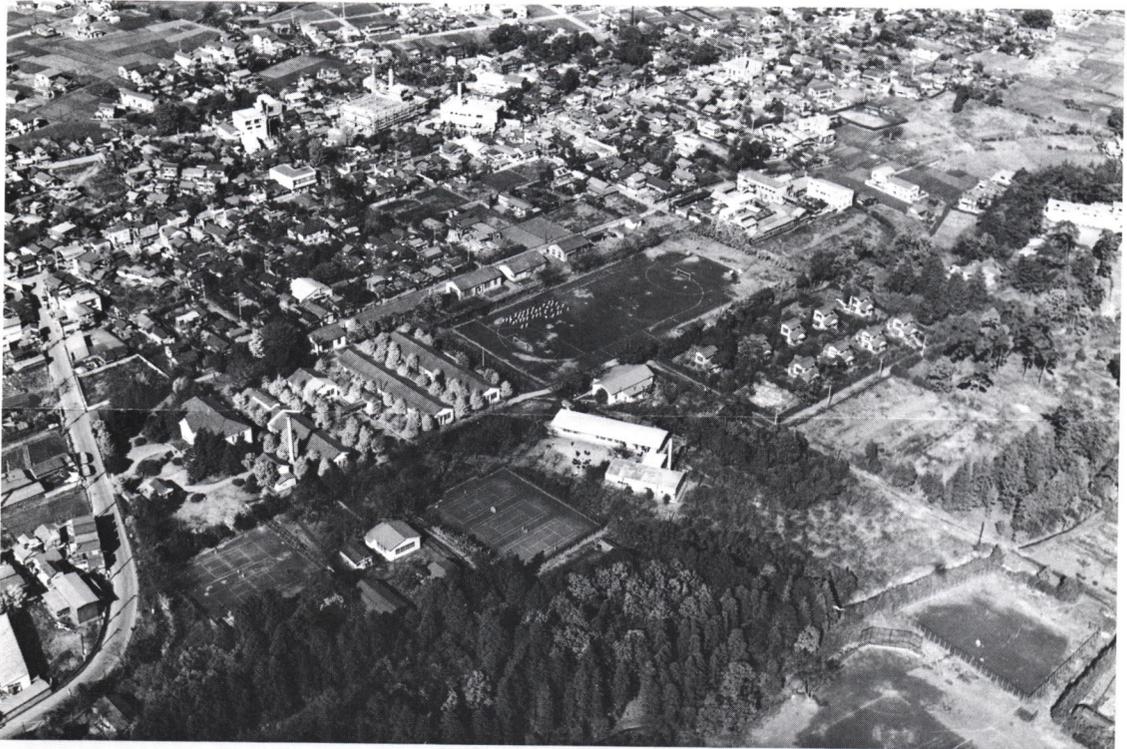


三田 熙

創立50周年記念

創立50周年(1998年)に向けて校内に「50周年記念誌編集委員会」(委員、松崎、三義、小林)が設置されました。現在、どんな内容のものにするか検討を進めています。OB諸氏のご意見も参考にしたいと思います。ご意見、アイデアを学校までお寄せ下さい。また資料の収集も始めています。本号に掲載された東京オリンピック記念という校地全景写真も一つの例ですが、OB諸氏の机の中に眠っている写真、ノート、教科書、さまざまな印刷物や刊行物などを探して下さいます。その時々志木高の姿や志木高生の生活を伝えるものであればどんなものでも結構です。学校へ寄贈願うか、お貸しいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(松崎記)



1964 TOKYO オリンピック 記念

同期会だより

5期

中島康自君のこと

5期の仲間、中島康自君が猛暑の7月

25日に逝った。

享年58才の若さであった。

授業の合い間に教室内や柿の木の下で、好きなトランペットでハーレムノクターンを聞かせてくれた。大学に進学後、ライトミュージックソサイエティーで活躍、早慶戦では、應援指導部のプラスバンドの協力奏者として、ひとときわ華やかなサウンドを神宮の森に轟かせてくれた。兄上、姉上と共に頑張っていた銀座の店は、5期を中心とするハンドレッドクラブの仲間の集いの場として、毎回、バルハラディンやバルバカンといった素敵なパブレストランを特別料金で提供してくれた。時には蓼科の別荘に仲間を招き、ゴルフやカラオケに楽しいひとときを作ってくれた。慶応をこよなく愛した彼は、時間が許す限り出来るだけ多く、塾関係の会合に出席していた。そして大きな声で「若き血」を唱っていた。

生前、彼が冗談まじりに願っていた通りに、三色旗に包まれて、仲間の唱和する「若き血」で天国に旅立って赴った。

葬儀の日、仲間達は今までにない大きな声で彼のために「若き血」を唱った。

ありがとう、中島康自君、そして、グッドバイ、素晴らしき慶応野郎。

(宮田記)

10期

おおかたの同期生は、大学を昭和39年に卒業したので、今年は秋の連合三田大会の当番年度、それも中心となる30年目に当たっていた。実行委員会に入って活動した者も多く、大会券の消化には39年卒全員一丸となって協力したから、10月16日(日)の日吉キャンパスには、

懐かしい志木高の仲間達がたくさん集まった。大会のスローガン通り「共にむつみし幾年は、心に永くとどまらん」「Friendship '94」確認の秋だった。(馬場記)

11期 遊志会

前回の会報11号に掲載しました以降の平成6年度のスケジュールは下記のように消化しています。

○5月28日(土) 第48回ゴルフ大会 於：セントラルG.C. (幹事：馬淵)

優勝 馬淵祥宏 2位 池田信彦 3位 山本久方
参加者：栗原、篠原、望月、池田、野村、北村、中西、山本、細谷、磯村、唐須(啓)、後藤、川瀬、森原、大海渡、高木、森村、馬淵 (18名)

○8月27日(土) 横浜中華街での昼食会 (幹事：栗原)

参加者：栗原、鴻田夫妻、小松崎夫妻、唐須(教)夫妻ならびにご子息2人、内藤夫妻、中西、馬淵夫妻、深山夫妻、森田夫妻、山口(磐)夫妻(20名)

○9月24日(土) 作陶を楽しむ会 (幹事：村木)
参加者：高山先生、大塚、栗原夫妻、鴻田夫妻、佐藤(直)夫人とお嬢様、高木夫妻、中西、森田夫妻、村木夫妻 (15名)

○10月15日(土) 第49回ゴルフ大会 於：霞ヶ浦国際G.C. (幹事：馬淵)

優勝 望月洋、2位 山中楯機、3位 杉井昭夫
参加者：高山先生、馬淵、大海渡、細谷、森原、小松崎、菅谷、池田、野村、市川、鴻巣、山中、高沢、松川、山本(久)、橋本、森村、荒生、服部、杉井、深山、望月 (22名)

引き続き11月20日(日)に幹事野村の企画により多摩川の清流「御岳」での昼食会(トウフ会席)と散策が行われることになっており今年を締めくくります。

〔会員の動静〕

木脇俊隆 6年5月 日本精工(株)大阪支社
↓
同社神戸支社

- 佐藤直司 6年6月 東京海上営業第6部
↓
同社静岡本部
- 西松 實 6年6月 三井信託銀行
↓
新和光投信委託(株)
- 内藤 晋 6年8月 (株)JALカード
↓
JAL大宮支店
- 石橋徹雄 6年8月 三井物産化学品統括部
↓
Mitsui & Co., Ltd. India
- 吉川太久磨 6年8月 タイ味の素冷凍食品(株)
↓
味の素広域営業本部
- (野村記)

13期

今回は岩橋崇至君から送付してきた写真も掲載して近況を報告致します。皆様のご支援のお陰で米国内ツアー写真展の第一歩を7月8日から月末までロス市内の「DOIZAKI GALLERY」で開催しました。前日には内外報道関係者を対象としたPRE-VIEWを、又、オープニングパーティには200名の来場を得て幸先の良い



スタートとなったとのこと。展示に大型パネルを使用したことから臨場感あふれる会場設営により“Rocky”のもつ雄大さをおおいにアピール出来たようです。さらに11月1日から12月5日までアトランタ市内の「THE FERNBANK MUSEUM OF NATURAL HISTORY」で開催されています。今後ご支援の程お願い致します。(千葉記)

15期

去る11月12日(土)、東京三田倶楽部で第16回亦楽会が開催されました。鐵野校長を始め、先生方8名をお迎えし、同期生(第15期

卒業)も50名が参加しました。

今年は、松野君の呼びかけて志木校在籍4年以上者(留年組?)が数多く出席した他、同期初の国会議員(台湾国務院議員)となった張君の選挙調候



拶もあり、同窓会は大いに盛り上がりました。野川君の逝去を悼み、黙禱で始まった会もメインイベント新保先生のオペラ独唱(お嬢さんの伴奏付き)で最高潮に達しました。会場に掲げた卒業記念写真の引き伸ばし版を見て、頭の寂しさ・腹の出具合に29年の歳月をしみじみと感じた仲間も多かったようでした。来年は卒業30周年に当たる年、今年新たに選出された先生幹事の建部先生を含め、総幹事勝倉君他各組幹事一同張り切って企画立案するとの事、亦の再会を楽しみにしています。(鎌田記)

19期

平成5年11月を第1回とし、19期生有志のゴルフコンペを開催しています。本年も6月に14名参加の上、茨城ロックヒルゴルフクラブにて開催、優勝は塩家和好君でした。(因みに第1回は藤山勝濟君)

高校時代の“ノリ”で和気あいあいと楽しくプレー出来ました。今後も年1~2回の開催を目指し、続けて行くつもりです。19期生の多数の参加を望みます。(次回開催は平成7年春)参加御希望の方は下記迄御一報を……。

幹事：村上功治

会社：ソニー生命保険(株)03-3343-8611

自宅：045-572-4564

(村上記)

MESSAGE

●前回もご案内しましたが、この先の特集で「卒業生、知って得する便利なMAP」を企画しています。卒業生の方々の会社や店舗等の情報を編集子までご連絡願います。

連絡先 中村弘司(23期) TEL. 3814-5626(太田堂)
FAX. 3815-7050

●現在慶應志木会の事務は竹内富美子さんをお願いしています。昨今、慶應志木高同窓会と云う事で彼女の名前を語り、卒業生宅に電話をし就職先等を聞き出す人がいる様です。慶應志木会の活動とは全く無関係ですので、会員の方々におかれましては充分ご注意の上対応願います。

●維持会員納入状況について

本年3月にお願ひしました第二期5年分(平成5年度～平成9年度)の維持会員の納入状況は次のとおりとなっています。未納の方におかれましては趣旨をご理解の上、ご協力をよろしくお願ひします。

●慶應志木会 維持会費入金状況

(平成6年9月30日現在)

期	在籍者数 名	会費払込者 名	払込率 %	期	在籍者数 名	会費払込者 名	払込率 %
1	94	30	31.9	22	270	52	19.3
2	60	13	21.7	23	271	48	17.7
3	48	6	12.5	24	267	48	18.0
4	46	13	28.9	25	262	67	25.6
5	106	27	25.5	26	268	44	16.4
6	85	28	32.9	27	249	30	12.0
7	98	23	23.5	28	248	36	14.5
8	94	24	25.5	29	277	37	13.4
9	116	25	21.6	30	262	53	20.2
10	196	63	32.1	31	253	29	11.5
11	218	56	25.7	32	262	28	10.7
12	202	49	24.3	33	244	26	10.7
13	212	51	24.1	34	265	35	13.2
14	196	40	20.5	35	266	39	14.7
15	259	61	23.6	36	258	37	14.3
16	260	58	22.3	37	338	44	13.0
17	265	84	31.7	38	250	37	14.8
18	261	49	18.8	39	282	49	17.4
19	263	50	19.0	40	249	49	19.7
20	260	63	24.2	合計	8,637	1,658	19.2
21	259	57	22.0	平均	216	41.5	19.2

(注1)・在籍者数はダブリ(約100名)及び死亡等を含む。
・振込者で無記名者あり。
・ダブリ者入金分両期とも入金扱い。

なお、本件に関するご照会は下記宛お願ひします。
幹事長 大谷 熙(1期)TEL3632-0005
財務委員 大道賢二(12期)TEL3572-1436

編集後記

卒業してから20年過ぎ、お手伝いするつもりで、参加しましたが、その当時と同じように先輩におんぶにだっこの有様。進歩がないのは誰のせいでしょう? 当時から、厳しさとやさしさの愛情深いご指導は、変わらないようです。次号は、自分が仕切りますので、今回はお許しを……。 (徹)

慶應志木会会報 1994(秋・冬) ● vol.12

平成6年12月10日発行
編集・発行 慶應志木会(慶應義塾志木高等学校同窓会)
〒353 志木市本町4-14-1
発行人 櫻井英太郎
印刷 株精興社